



第2回

海外看護事情研修旅行 (エストニア・フィンランド)

デジタル先進国×福祉先進国で体感する
医療・看護の最前線

研修期間:2026年11月1日(日)～11月7日(土)7日間

参加募集要項

医療×IT 先進国エストニア・フィンランドに看護・医療・介護の未来を学ぶ

企画主催:株式会社学研メディカルサポート

実施手配:NPO 法人海外文化センター
(ベストワールド株式会社)

AI、ICT活用がもたらす医療現場と新時代の地域医療の体制づくり

AI、ICTをはじめとする、テクノロジーの進展は目覚ましいものがあり、その波は医療の分野にも押し寄せています。病気の診断などにAIを活用する動きもあり、一部の疾患ではすでに実用化されています。また、電子カルテや遠隔診療支援システムの導入などにより、効率的に質の高い医療を提供する取組みもみられるようになってきました。

今後AI、ICTは、さらにどう進展し、どのような変革をもたらすか。それに伴い、従来の医療の常識や看護の役割はどう変わっていくか。本研修ではIT先進国であるエストニアと、同じくIT先進国で地域包括ケアシステムに20年以上も前から取り組んでおり、成果をあげているフィンランドにおいて、現地の医療機関、高齢者施設等を訪問し、視察します。

本視察が、今後の日本が進むべき医療の方向性について少しでも参考になれば幸甚に存じます。

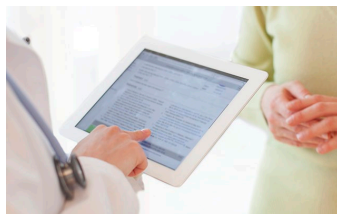
研修のポイント

=エストニア・フィンランドのAI、ICTの活用と地域医療の在り方=

- 医療・介護・健康分野の情報連携基盤の構築
- IoT・AI・スマートデバイスの活用
- 救急、災害医療等の政策
- 効率的な病院経営、経営基盤の確立
- 北欧におけるへき地医療の取り組み
- 高齢者の栄養管理、QOLの維持・向上
- エストニアにおけるAI、ICTを活用した医療
- フィンランドにおける地域医療の現状
- 医療従事者の教育・研修と確保
- 医療を受ける環境整備、安全な医療の実現
- 地域中核病院と在宅医療の連携
- AI・ICT技術を用いた業務軽減
- 電子カルテ連携への取り組み
- 欧州における医療事故の対策と調査制度

エストニアの医療データ活用

「e-Health」先進国であるエストニアでは、包括的な Health Information System (HIS)が構築されており、すべてのクリニックや医療サービス業者に、患者の医療データを登録することが義務づけられています。このHISを起点にあらゆる医療データを患者及び医療従事者が共有・参照できる仕組みが実現されています。国民全員が、保有する政府発行の電子IDにより、自身の医療データに簡単にアクセスできるほか、医師や薬剤師も、適切なアクセス権限をもつことで、必要なときに患者のデータを閲覧できるようになっており、診療等が迅速かつ正確に行われます。また、電子処方箋(e-Prescription)システムにより、医師はオンラインで処方箋を発行し、患者は薬局で迅速に薬を受け取ることができます。このような取り組みにより、エストニアでは医療の効率性と質を大幅に向上させています。



写真はイメージ

フィンランドの介護制度

フィンランドの介護制度は、**高齢者の予防介護に力を入れているのが特徴**です。フィンランドでは「高齢者のいるところに足を運ぶ」「高齢者にこちらから近づいていく」という、高齢者中心の徹底した予防的家庭訪問が行われているほか、**高齢者との信頼関係を築くコミュニケーション能力が重要視**されています。フィンランドのサービスは、利用者に安心感や自己存在価値の増大をもたらすなど絶大な効果があります。これらの取り組みは、利用者だけでなく、スタッフの仕事のやりがいもアップさせました。利用者との信頼関係を築き、より質の高い介護を提供するため、日本が見習う点が多い制度といえます。

《研修都市》



第2回 海外看護事情研修旅行(エストニア・フィンランド)日程表

月日	都市名	時刻	交通機関	摘要	食事
2026年 11月1日 (日)	(羽田空港集合) 羽田発 ヘルシンキ着 ヘルシンキ発 タリン着	06:30 08:25 14:40 16:25 16:55	(各自) JL-047 AY-1025 専用車	羽田空港第3ターミナルに集合。 搭乗手続き後出発。ヘルシンキ乗り継ぎ、 エストニアのタリン向け出発。 タリン着後、ホテルへ。 ※夕食は、全体会食会 (学研メディカルサポート主催) 【タリン泊】	機内 夕
11月2日 (月)	(タリン滞在)			午前:タリン市内視察 午後:総合病院視察 ■エストニア北部地域病院(総合病院) 2001年設立。エストニア政府により複数の医療機関が統合して誕生した、国内最大規模の総合病院。7つのクリニックと30以上の専門センターを有する。病床数は1,200床を超え、5,000名超の職員が勤務する。 年間入院患者数は約3.6万人、外来約38万件、救急8.4万件を受け入れている。対応分野は小児科・産科を除く、ほぼすべての診療科目。高度専門診療も提供し、とくに、がん治療、血液疾患、創傷治療、心臓病、精神疾患などで国内トップレベルの医療を提供する。国内の医療イノベーション拠点でもあり、e-ヘルス分野でも先進的な取り組みを行う。タルトウ大学やタリン工科大学などとも連携し、個別化医療も推進している。 【タリン泊】	朝
11月3日 (火)	(タリン滞在)			午前:タリン自由行動 午後:高齢者施設視察 ■スタメコッド(高齢者施設) スタメコッドはエストニア国内最大規模の民間介護ホーム運営会社。国内各地で10ヶ所以上の高齢者向けケアホームを展開しており、そのうちの1施設を視察。 【タリン泊】	朝
11月4日 (水)	タリン発 ヘルシンキ着	午前	フェリー 専用車	大型客船(シリヤライン)にてフィンランドのヘルシンキへ移動。 午後:高齢者施設視察 ■マルッティラ高齢者向けケアホーム(Marttilan hoivakoti) ケラヴァ市にある公立の高齢者介護施設。全60室超を4フロアで運営し、1・2階は共同生活型住居、3・4階は24時間サービス付き住宅になっている。 共同生活型住居では、24時間の介護は必要としないものの、自宅生活が困難な入居者が暮らしており、入居者同士の交流やアクティビティも活発に行われている。看護師・介護士等、多職種のスタッフが、週間プログラムに基づき、入居者の活動性の維持を図り、活気ある生活をサポートしている。 【ヘルシンキ泊】	朝
11月5日 (木)	(ヘルシンキ滞在)			午前:総合病院視察 ■タンミ総合病院(Tammisairaala) 頭頸部センターに属する眼科専門病院。ヘルシンキ市内に点在していた眼科を集約し、最新設備を備えた眼科専門病院として設置された。より高度な治療を受けられるようになり、フィンランド全域から患者が訪れる。同施設にはエネルギー効率を考慮した最新設備を備え、内装も視覚障害のある方のアクセシビリティに配慮した工夫が凝らされている。 午後:ヘルシンキ自由行動 【ヘルシンキ泊】	朝
11月6日 (金)	ヘルシンキ発	午前 14:00 17:30	専用車 JL-048	ヘルシンキ自由行動(各自) ホテルより専用車にて空港へ。 空路、帰国の途に。 【機中泊】	朝 機内
11月7日 (土)	羽田着	14:20		羽田空港着後、解散	

※訪問先と航空機の時間は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※最終スケジュールは10月に配布予定の日程表にてご案内申し上げます。

第2回 海外看護事情研修旅行(エストニア・フィンランド)実施要項

1. 訪問国：エストニア(タリン)／フィンランド(ヘルシンキ)
2. 期間：2026年11月1日(日)～11月7日(土) 7日間
3. 視察目的：諸外国における看護・医療・介護の実態及び医療・介護施設の現状を視察し、相互に意見交換を行い、自施設、ひいては日本の医療水準の向上に寄与する

4. 締切日・申込み：2026年7月31日(金) ※右記のQRコードよりお申し込みください

※渡航前説明会をオンラインにて開催予定です(10月上旬頃)

※申し込みと同時に申込金(¥60,000)のお振込みをお願いいたします

(この申込金は旅行総経費の内金となります。残金は出発の1ヶ月前までにお振込みをお願いいたします)

5. 研修費用：限定17名様 おひとり様料金 ¥555,300-

※燃油サーチャージ他 TAX は、別途料金が掛かります

(5月現在:約131,000円、変動がありますので、参加者希望者には後日ご案内申し上げます)

※参加者数が募集人員未満の場合は上記研修旅行を実施できない場合がございます

※奇数人数のためお一人部屋を利用する場合、シングルルーム追加料金がかかります

※訪問先に追加費用がかかる場合は、実費をご負担いただきますようお願い申し上げます

※全日程、添乗員が同行します。また、現地通訳も帯同します

※今回の航空運賃は団体料金を適用しております。定員を超えた後もお申込みを受け付ける場合

がございますが、その場合、料金が高くなる可能性がございます。先着順になりますので、お早目の申込みをお勧めします。



●旅行代金に含まれるもの

1. 航空運賃(エコノミークラス利用)
2. 宿泊料金(1室2名様)
3. 食事:朝食および機内食(往復)含む
4. フェリー乗車券、鉄道利用
5. 団体行動中の各種チップ等
6. 視察手配料(訪問施設)
7. 視察時の交通費用
8. 視察時の通訳費用
9. 専用車及び通訳・ガイドチップ代など

●旅行代金に含まれないもの

1. 燃油サーチャージ、現地各空港税他 TAX
2. 通信費、手荷物超過料金等、個人的な費用
3. 視察先のお土産代、追加視察費用など
4. 任意の旅行傷害保険料
5. シングルルーム追加費用(¥83,000)
6. 旅行主催包括取扱諸費用(¥8,800)

●パスポートについて

パスポートは有効残存期間が3ヶ月以上必要です。

有効期間が6ヶ月以上残っているパスポートを推奨します。

有効なパスポートをお持ちでない方は、各都道府県のパスポートセンターにて申請・取得をお願いします。(パスポート取得までには、約2週間かかります)

〈パスポート申請に必要な書類〉

- ・一般旅券発給申請書 1通
- ・戸籍謄本(全部事項証明書) 1通 ※6ヶ月以内発行
- ・写真(規格を満たすもの) 1枚 ※6ヶ月以内撮影
- ・本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカードなど)

※パスポートを取得しましたら、顔写真のページのコピーをベストワールド(株)にお送りください。航空券、ホテルの予約に必要になります

●振込先

銀行名：三菱UFJ銀行 神田支店

名義：ベストワールド株式会社

口座：当座預金 0451765

●キャンセルについて

旅行参加お申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は下記の取り消し料がかかります。

*45日前～3日前までの場合……………費用の30%

*出発2日前～前日までの場合……………費用の50%

*出発当日及び出発後の場合……………費用の100%

●おことわり

旅行費用は2026年5月現在の特別航空運賃を基準にしております。出発前に大幅な為替変動などがあった場合には、旅行費用が変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

●規約事項

旅行中、天災、事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更があった場合、その他止むを得ざる事情があった場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。

個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及び、それらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲以内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。

研修旅行に関するお問合せは

株式会社 学研メディカルサポート

〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

TEL:03-6431-1228(代表)

E-mail: gns-info@gakken.co.jp

(TEL 受付時間:月～金曜 9～18時)

海外医療機関視察事業担当者宛

お申込み・お問合せは

NPO 法人海外文化センター

(ベストワールド株式会社)

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-7-4

TEL:(03)3295-4111 FAX(03)3295-4118

E-mail: kobayashi@bstworld.co.jp 担当:小林